

根堀台

第26号



由利中学校 学校便り
平成三十年十二月十八日(火)

発行者 校長 佐々木克也

由利中この一年

平成30年 校長が独断で選ぶ！！

由利中「十大ニュース」

平成最後の年の瀬を迎えています。今年も様々な事がありました。先日、ことし一年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」が京都の清水寺で発表され、西日本豪雨や北海道地震などの自然災害によって多くの人が被災したこと、災害の「災」の文字が選ばれました。「災い転じて福となす」の意味合いが込められているという事ですが、災害がいかに多い年であったか象徴されています。

本校でも、テニスコートの法面崩落などありましたが、その他はホットなニュースが沢山ありました。ここでは校長が独断で選んだ由利中十大ニュースを載せたいと思います。

第一位 由利中祭！

今年の由利中祭は、雨に恵まれました。この時期

稲刈りの最盛期で、由利中祭参観などで行っていただけない方は沢山いたと思われませんが、雨天のため農作業は中止、由利中祭でも行ってみるかという方々も沢山いて、体育館は満員御礼でした。生徒自ら企画運営したことで自己有用感の醸成につながった最大の行事となりました。



第二位 柔道秋田県制覇

〇〇〇〇さん

一Aの〇〇〇〇〇〇さんの柔道は圧巻でした。小学校で全国八位という実績をそのまま実力を発揮してくれました。全県総体を優勝し、東北大会、全国大会の出場を果たしました。由利中の柔ちゃんとして、全県に名をはせました。



第三位 熱かった運動会

今年の由利中大運動会は、晴天に恵まれ、絶好の運動会日和になりました。過去二年間は、雨天のため体育館での開催でしたがぶつちぎりで優勝の三

Aの諸君は、本当に晴れて良かったです。また、グラウンドいっぱい広がって踊った「由利町音頭」は、とても素晴らしく、マスクにも取り上げられました。



第四位 防犯防火弁論大会最優秀賞

〇〇〇〇〇〇さん 快挙

第三十五回由利本荘市中学校少年非行防火弁論大会が本荘東中学校を会場に開催されました。

本校からは、三年A組の〇〇〇〇〇〇さんが出場しました。結果は、堂々の最優秀賞で市内十校のトップ

プでした。内容もさることながら、何よりも表現力が素晴らしかったです。



第五位 ○○○○先生

講演会！

オーストラリア在住の作家の○○○先生に、ご来校頂き、キャリア講演会を実施しました。文学者として、ドキュメンタリー「偶然の点の続き」という著書のことなどの著書の裏話も伺う事が出来ました。一緒に昼食を摂った生徒は一生の思い出となりました。

第六位 三A優勝

～ 駅伝大会に

小学生参加

著しく変化する天候の中ゆりまつり協賛由利中駅伝大会は、三Aの優勝

でした。今年から鮎川駅からの区間を小学生が三区に別れて走るなど新しい取組で実施しました。消防団も大活躍でした。



第七位 校舎大規模改修

夏休み前から十一月ま

でかけて暖房器具、トイレ等の大規模改修が行われました。現在、暖かな教室で学習できています。部活では体育館がしばらく使えないなど大変でしたが、今は快適です

第八位 地区陸上優勝

百十メートルハードル

今年の総体は、あまり良い結果を出せませんでした。唯一優勝したのが三A○○○さんの地区陸上競技大会での百十メートルハードルでの優勝でした。ハードルは準備から大変なので練習不足のま

ま大会出場となりましたが、試走、予選徐々にトラックに対応して、決勝では優勝でした。○さんの身体能力の高さには脱帽です。



第九位

由利中同窓会東京支部総会設立五十周年

本地区独自の組織の由利中同窓会東京支部設立五十年記念式典が東京で行われました。



ふるさと由利をいつもの心の片隅において遠い東京の地で生活されている先輩の皆さんの熱い想いを感じ取る事ができました。本校修学旅行隊も毎年交流していますが、先週二年生もお世話になりました。

第十位 ゆりの根教室

十一講座に地域の著名

な講師を招いて行われたゆりの根教室は、大変に充実していました。これまでは、社教との協賛事業でしたが、社教との関係を保ちつつ、コミュニティ・スクールの良さを出すために学校支援地域本部事業コーディネートターの○○○様のご協力を仰ぎながら事業の充実を図りました。親子で行う事にこの行事の意味があります。やはりPTA文化部の力も借りる必要があると感じました。ふるさと教育の基盤となる行事であると感じています。

校長の独り言



由利中に赴任して八ヶ月が経ちました。二学期制になって二年目という事ですが、まだ学校の運営が三学期制のままだということが分かりました。また、生徒数が半減しているのに、行事の在り方は二十年前と変わっていないものが殆どです。来年度は元号が変わります。平成は終わるのです。

新しい時代に向けて、不易なもの、しつかり受け継いで新たな形を創造する時が今です。皆さんにも協力願います。